

科名 血液内科

対象疾患 Ph陽性ALL

プロトコール名 JALSG Ph+ALL 213 強化地固め療法(60-64歳)

Rp 形態 ルート 薬剤名 量	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	...	31		
1 点滴 側管 グラニセトロン注 3mg 30分かけて	↓	↓	↓																													
2 点滴 側管 エンドキサン 900mg/m <sup>2</sup> 3時間かけて 生理食塩液 500mL	↓																															
3 点滴 側管 ダウノマイシン 30mg/m <sup>2</sup> 1時間かけて 生理食塩液 100mL	↓	↓	↓																													
4 点滴 側管 オンコピン 1.3mg/m <sup>2</sup> 30分かけて 生理食塩液 100mL	↓							↓							↓																	
5 経口 プレドニゾロン 45mg/m <sup>2</sup> 1日3回	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
プレドニゾロン 30mg/m <sup>2</sup>																																
プレドニゾロン 15mg/m <sup>2</sup>																																
プレドニゾロン 5mg/m <sup>2</sup>																																
6 経口 スプリセル 100mg/body 1日1回				↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	...	↓
7 髄注	↓																															

～MEMO～

- ・催吐レベル3(30-90%)
- ・オンコピン Max = 2 mg
- ・プレドニゾロンは、day1からday21まで投与し、day22以降1週間で漸減・終了とする。  
漸減方法は、30mg/m<sup>2</sup> × 2日間、15mg/m<sup>2</sup> × 2日間、5mg/m<sup>2</sup> × 3日間とする。
- ・スプリセルはday4からday31まで、1日1回 100mgを計4週間経口投与する。
- ・day1に「MTX 15mg/body+テキサート注 3.3mg/body」を髄注する。